

第2学年 国語科学習指導案

日時 平成16年 9月15日(水)5校時
場所 一関市立山目小学校2年C組教室
児童 2年C組男18名女20名計38名
授業者 大森 恵子

1 単元(教材名) 「人ぶつ」がしたことに気をつけて
(名前を見てちょうだい)

2 単元について

(1) 児童について

子ども達は、一年生のときから朝読書に取り組んでいることもあり、進んで本を読む子が多い。物語の登場人物に手紙を書いたり、気持ちや場面の様子を読み取ることが苦手な子もいる。音読については、1年生のときから家庭での音読を続けており、習慣になっているが、拾い読みの子が1名いる。今学期からは、学級で音読記号を話し合っただけで決め、様子や気持ちを考えて読み方を工夫できるよう指導し始めたところである。また、人前で話すことが苦手な子が3名いるが、みんなで励ましたり、話せるまで待ってあげたりして少しずつ話せるようになってきている。漢字の学習には意欲的な子が多い。

(2) 教材について

お母さんの愛情が詰まったすてきな帽子をもらって、うれしくて誇らしくてたまらないえっちゃんが、大男にも立ち向かい帽子を取り戻す姿に、子ども達は、声援を送ったり、同化して冒険しながら楽しく読み進められる教材である。これまでの物語教材としては、一年生では、「サラダで元気」、二年生では「ニャーゴ」を学習しており、さらに、12月の「かさこじぞう」、三年生での「サーカスのライオン」へと展開していく。

(3) 指導について

二年生になると、物語の楽しさを味わいながら読む姿も見られるようになる。この時期に、できごとの順序に注意して読み、場面の様子や人物の気持ちを想像する力を確実に身につけさせたい。ここでは、登場人物の気持ちを吹き出しに書いたり、気持ちを考えて音読を工夫したりする活動を通して児童一人一人が、想像力豊かに物語を読み、そのおもしろさを楽しめるように進めていきたい。

また、本校の研究の重点として、音読と視写を1時間の中に位置付けること、語句を大事に扱い、叙述に即して読み取ることなどがある。ここでは、子ども達が考えの根拠となることを本文から見つけ、本文のどこに書いてあるか、本文のどこからそう思ったのかを明らかにしながら、読み取りを進めていくことができるように、意識して指導したい。

3 単元目標及び評価規準

・人物の言動を中心に、できごとの順序に注意して様子や気持ちを想像しながら読む。

	関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	読むこと
単元の目標	・進んで音読劇に取り組む。	・音読の工夫について話し合う。	・できごとの順序に注意して読み、場面の様子や人物の気持ちを想像することができる。
評価規準	・音読に興味を持ち、進んで学習に取り組もうとしている。(全時を通して)	・音読劇の工夫について話し合ったり、友達の音読を聞いてよい点やさらに工夫するとよい点を話したりしている。(第13~15時)	・人物の言動を中心にできごとの順序をとらえ、場面の様子や人物の気持ちを読み取っている。(第4~12時)

4 単元の指導及び評価計画（18時間扱い）

時	学習活動	指導上の留意点・支援	評価規準（評価方法）
1	・題名について話し合った後、全文を通読してあらすじをつかむ。	・挿絵を見ながら、誰が何をしたか一つずつ確認する。	(読)物語のあらすじをつかんでいる。(発表)
2	・初発の感想をまとめて、発表する。	・感想が書けない児童には、おもしろいところや不思議なところを試写するように助言する。	(話・聞)感想を書き、発表している。 (ワークシート・発表)
3	・てびきを参考に学習のし方を知り、学習計画を立てる。		(関)学習計画を立てることに進んで取り組んでいる。(発表)
4	・場面の展開に即して、登場人物をまとめる。 ・場面毎の読みの課題を設定する。	・挿絵を手がかりに、登場する人物・場所・順番を確認する。 ・場面毎に、全員で考えたいことを一緒に確認していく。	(読)登場人物に気をつけて場面分けしている。 (ワークシート・発表)
6	・ぼうしをもらったえっちゃんの様子や気持ちを読み取る。	・人物がしたことを様子を表すことばと結びつけながら、順序に気をつけて読み取ることができるようにする。 ・役割読みや動作化、吹き出しに人物の気持ちを書くなどの活動を通して、様子を読み取ったり気持ちを想像したりすることができるようにする。	(読)えっちゃんのうれしい気持ちを想像している。(ワークシート)
7	・ぼうしを風にさらわれて追いかけるえっちゃんの様子や気持ちを読み取る。		(読)大切なぼうしを追いかけるえっちゃんの気持ちを想像している。(ワークシート)
8	・野原でのきつねとえっちゃんの様子を読み取る。		(読)ぼうしの名前が変わる不思議さを考えながら、きつねやえっちゃんの気持ちを想像している。 (ワークシート)
9	・畑での、えっちゃんたちと牛の様子を読み取る。		(読)前時との違いを考えながら、えっちゃんたちと牛の気持ちを想像している。(ワークシート)
10	・林で大男と出会ったえっちゃんたちの様子を読み取る。		(読)帰ってしまうきつねや牛と比較して、えっちゃんの気持ちを想像している。(ワークシート)
11	・大男に立ち向かうえっちゃんの様子を読み取る。		(読)えっちゃんが大きくなったわけを考えながら、えっちゃんの気持ちを想像している。
12	・ぼうしが戻ってきたときのえっちゃんの様子を読み取り、物語全体を通しておもしろさを味わう。		(読)えっちゃんのうれしい気持ちを想像している。 (ワークシート)
13	・グループで音読劇にする場面を決め、役割分担をする。	・前時までの読み取りを振り返り、その時の音読の工夫などを想起するよう促す。	(関)音読劇に対して意欲を持つことができたか。
14	・グループでの音読の工夫を考えて音読練習をする。	・音読記号を書き込むよう促す。	(話・聞)音読の工夫について話し合っている。
15	・音読練習を聞き合い、よい点やさらに工夫する点などを話し合って練習する。	・会話文をどう読むか、どんな動作をつけるかをグループで話し合い、台本に書けるようにする。	(話・聞)友達の音読を聞き、よい点やさらに工夫する点などを話し合っている

16	・音読劇の発表会をする。	・聞く時の観点などを示したカードを用意し、記入しながら聞くようにする。	(話・聞)友達の音読劇を聞いた感想を発表している。
17		一言感想も書くようにする。	(発表・ワークシート)
18	・学習のまとめをする。 ・漢字・語句の学習をする。	・読み取りの際に書いたワークシートや音読練習の時のメモなどを見返して、それぞれのときの思いなどを話すように促す。 ・漢字は、引き続き練習し定着を図る。	(関)(話・聞)学習を振り返って感想を話している。 (言)画の接し方や交わり方などに注意し、形の似ている漢字を読み書きしている。

5 本時の指導 (10 / 18)

(1) 授業の構想

人物がしたことや言ったことをもとにして様子を読み取ることができるよう、根拠となる言葉を確認しながら進めていきたい。人物の気持ちを豊かに想像することができるように、役割読みや動作化、吹き出しに気持ちを書くなどの活動を取り入れていきたい。また、人物の気持ちを想像しながら音読することができるように挿絵を効果的に使いたい。

(2) 本時の目標

(読) 林で大男に出会ったえっちゃんたちの様子を読み取り、気持ちを想像することができる。

(3) 展開

段階	学 習 活 動	支援と評価	準備物
めあてとらえ	1 前時の学習を想起し、本時の学習場面を確認する。 ・本時の学習場面を一斉読みする。 2 学習課題を確認する。 どうして、えっちゃんは、帰らなかったのでしょうか。	・前時は、「牛と出会ったえっちゃん」の様子や気持ちについて学習したことを確認する。 ・本時は、前「大男と出会ったえっちゃん」の場面を学習することを確認する。 ・課題をワークシートに書き、全員で読む。 ・本時の学習課題「どうして、えっちゃんは、帰らなかったのか」を考えながら読むことを確認する。	ワークシート
8分	3 本時の学習範囲 (P9L6 ~ P12L4) を音読する。 ・指名読みする。		
ひとり学び合い	4 大男に出会ったときのえっちゃんたちの様子や気持ちについて話し合う。 えっちゃんたち えっちゃんときつねと牛 ・大男の様子ができる言葉を見つける。 木よりも高い どかんと ふしぎそうに ながめる ・役割読みをする。 「それ、あたしのよ。」 「ぼくのだよ。」 「わたしのですよ。」 「名前を見てちょうだい」	・本文の言葉や挿絵などから、大男とえっちゃんたちの様子や気持ちを考えるようにする。 ・「木よりも高い、どかんと」などの言葉から大男の大きさを読み取ることができるようにする。 ・グループに分かれて役割読みをする。えっちゃんたちがしたこと、言ったことを確認し、気持ちを考えながら音読するようにする。 ・大男から逃げる時の牛やきつねの姿と対比させるために、ここでは、元気よく読ませたい。	挿絵 紙板書

<p>ひとり学び</p> <p>学び合い</p> <p>36分</p>	<p>5 帰ってしまうきつねや牛の様子や気持ちについて話し合う。</p> <p style="padding-left: 2em;">後ずさり 風のように</p> <p>・大男の恐ろしさが分かるところを見つける。</p> <p style="padding-left: 2em;">じろりと見下ろす したなめずり</p> <p style="padding-left: 2em;">あっという間にばくん</p> <p style="padding-left: 2em;">「もっと何か食べたいなあ。」</p> <p>・帰っていく牛やきつねの気持ちを考えワークシートに書き、発表し合う。</p> <p>・牛やきつねがつぶやいたところを音読する。</p> <p>6 帰らなかったえっちゃんの様子や気持ちについて話し合う。</p> <p style="padding-left: 2em;">むねをはって きりりと 見上げて</p> <p>・えっちゃんが大男に言った言葉を視写し、全員で読む。</p> <p>・えっちゃんの気持ちをワークシートに書き、発表し合う。</p> <p>7 まとめ読みをする。</p> <p>・えっちゃんが 言った言葉を音読し、学習のまとめをする。</p>	<p>・「後ずさり、風のように」などの言葉から、牛やきつねが急いで帰る様子を読み取ることができるようにする。</p> <p>・牛やきつねが急いで帰ったほど恐ろしい大男の様子が分かる言葉を見つけることにより、大男の恐ろしさを強調し、それでも帰らなかったえっちゃんの強い気持ちに気付かせるようにする。</p> <p>(読) 牛やきつねの気持ちを考え、書くことができたか。(ワークシート)</p> <p>・帰っていく牛やきつねの気持ちを考えながら全員で音読する。</p> <p>・急いで帰った牛やきつねと対比させ、帰らなかったえっちゃんの気持ちを考えるようにする。</p> <p>・ぼうしが、なぜ、えっちゃんにとって大切だったのかを振り返り、ぼうしを取り戻したいえっちゃんの気持ちを考えるようにする。</p> <p>(読) えっちゃんの気持ちを考え、書くことができたか。(ワークシート)</p> <p>・ぼうしを取り戻したいえっちゃんの気持ちが表れるように音読させたい。</p>	<p>紙板書</p> <p>紙板書</p>
<p>振り返り</p> <p>1分</p>	<p>8 本時の学習を振り返る。</p> <p>・ワークシートの振り返りを書き、今日の学習を振り返る。</p> <p>9 次時の学習内容を知る。</p>	<p>・本時の学習を振り返り、自分のがんばりを確認し、次時の学習意欲につなげる。</p> <p>・次の時間は、「えっちゃんがどうして大きくなったのか」を学習することを話す。</p>	

(4) 評価(本時)

評価規準 (方法)	具 体 の 評 価 規 準		
	A : 十分満足できる	B : おおむね満足 できる	C : 支援を要する児童への 手だて
(読) 林で大男と出会ったえっちゃんたちの様子を読み取り、気持ちを想像して書くことができる。 (ワークシート)	・既習の事柄を踏まえ、人物がしたことや言ったことをもとにして、気持ちを想像して書いている。 例 きつね・牛 「こわい」 「食べられたくない」 えっちゃん 「お母さんからもらった大切なぼうしだから」	・人物がしたことや言ったことをもとにして、気持ちを想像して書いている。 例 きつね・牛 「早く帰らなくちゃ」 えっちゃん 「わたしのぼうしだから」	・それぞれの人物が話したことを見つけることができるよう支援する。

板書計画

大男の絵

「早く帰らなくっちゃ…」

「わたしは帰らないわ。…」

えっちゃん
の絵

きつねと
うしの絵

会話文

かだい
名前を見てちょうだい
あまんきみこ
どつして、えっちゃんは
帰らなかったのしょう。

